

## カンボジア国コンポントム小学校教員養成校（PTTC）における学生に対する指導力向上支援事業

### プロジェクトレポート～2023年度～

2年目も前年度同様、2回の専門家派遣（8月・2月）と1回の訪日研修（10月）を実施しました。2年目からはPTTCとPTTC附属小学校の教官・教員らが中心となりグループを作り、模擬授業作りを行いました。専門家の先生たちはオンラインを活用し、カンボジア側の活動について積極的なサポートを行いました。

#### ■第3回専門家派遣（2023年8月）

IBLを教育現場で実践すべく、PTTC教官たちは専門家のアドバイスを参考にしながら、授業案を考案し、PTTC附属小学校で社会の模擬授業を行いました。授業の題材は「様々な土の利用」で、授業には、箱に入った数種類の土が用意されました。また、農家を兼業している先生たちがサポート役となり、児童たちは土を観察したり触ったり、またサポート役の先生に聞いたりしながら、どの土が稲の生育に適しているのか考えました。その他、ファシリテーション講習を開催し、話し合いの場では年齢や役職に関係なく、みんなが意見を交換しあう大切さを伝えました。専門家によるセミナーも実施しました。



《社会の模擬授業》



《ファシリテーション講習》



《専門家によるセミナー》

#### ■第4回専門家派遣（2024年3月）

PTTC教官は、社会「交通安全・安全の自転車利用」、算数「小数の掛け算と割り算」、理科「植物のライフサイクル」の模擬授業を実施しました。専門家2名がオンラインでアドバイスをを行い、児童が「やってみたい!」「もっと知りたい!」と思えるような授業案が作れるようにサポートしました。模擬授業後の意見交換会では、クラス全体の雰囲気ではなく、児童一人一人に着目し観察することで、退屈している子がいる、グループ活動に入れない子がいる、ということが見えるようになり、そのことが、授業改善の糸口に繋がると専門家からアドバイスがありました。



《社会の模擬授業》



《理科の模擬授業》



《算数の模擬授業》

#### ■第2回訪日研修（2023年10月）

PTTCの教官7名、PTTC附属小学校の教員2名、コンポントム州クロム小学校の教員1名が来日し、神戸市の小学校2校と兵庫県内の小学校1校を視察し、授業見学・施設見学・日本の教員らとの意見交換会を行いました。この訪日研修では、IBLを取り入れた体育・国語・英語・生活・理科の授業を見学しました。PTTC教官の中には「IBLは文系科目では難しいと思っていたが、社会科でも取り入れることができそうだ」と感想を述べる人が出るなど、IBLに対する認識が変化するという大きな進歩が見られ、モチベーションが高まりました。



《授業見学》



《研修最終日の様子》



《集合写真》